

夏目とも子

「遠州横須賀 後藤邸 2025」 インスタレーション

材料／トレーシングペーパー・インク・紙・色鉛筆・プラスチック段ボール 等

後藤邸での作品展示は三年目となりました。

この部屋に佇むと日本家屋の直線性と簡潔さを考えます。水平と垂直のラインで美しく構成された部屋に、夏休みの宿題のような作品を毎年展示しています。

一年目は色鉛筆で毎日色塗りをしたシートを並べ、二年目には青い小さな立方体を大量に折り、組立てて置きました。今年は青いインクで文字と線を繰り返して書きました。ひらがなを初めて書いた時の記憶は遠い彼方ですが、書き取り学習のように書き連ねると文字の持つ意味が剥がれてゆくようでした。

ルールに基づいてコントロールされた制作方法を選ぶのには理由があって、制約の中でおしみ出てくる何か、あるいは秩序の先にある矛盾や揺らぎに、美や光が垣間見える一瞬を求めているのでしょう。

文字も線も、色も形も、整頓してぎゅっと集めて一つの箱に詰め込んだのちに、この部屋に並べ直したら、意味と表層が交差して空間に浮遊するでしょうか。

ふと出来上った楕円の輪を弧の上に並べてみると、後藤家の壁に残る落書き跡の円形図像に重なりました。

2025. 10. 24

2023 年の作品はこちらから見られます
<https://www.tomoko-natsume.com/goto-residence>

